



めざそう！食肉の安全・安心！！

検査所だより

2023.3 (vol.78)

宮城県食肉衛生検査所

仙台・宮城観光PRキャラクター むすび丸

開かれた食肉衛生検査所へ！ 私たちは食肉衛生検査情報の還元を推進し、開かれた食肉衛生検査所を目指しています。生産者の方も食肉関連事業者の方も気軽に当所をご利用ください。

～備えあれば憂いなし～

4年ぶり!!と畜場で炭疽防疫演習

令和5年1月18日（水）15:00から、株式会社宮城県食肉流通公社の協力のもと、大動物解体処理室にて、炭疽防疫演習を実施しました。演習は、大動物係留所に牛のダミーを配置し、『検査員が係留所で炭疽を疑う症状を呈した牛を発見する』という設定で行いました。現場における初動防疫作業開始から現場作業員が待機場所に移動して健康調査を完了するまで、約1時間、検査所職員7名、公社職員12名が参加し、終始緊張感をもって演習は進行しました。と畜場現場における防疫演習は、平成30年以來4年ぶりの開催となり、参加者からは、「非常時に迅速かつ適切に防疫作業ができるように、定期的な現場演習を継続して行う必要性を感じた。」との声が多く聞かれました。現在、日本では平成12年に宮崎県の農場での発生以降、新たな発生は見られませんが、発生した場合の被害を最小限に食い止めるためには、日頃より炭疽についての知識を深め、緊急時の対応について十分に把握して備えておくことが大切です。今後も、関係機関と協力しながら机上演習や実働演習を継続して実施し、万全な防疫体制を目指したいと思います。



係留所で炭疽疑いの牛発見！！



と畜作業停止・給排水停止の指示



牛現場から検査所に報告



防護服を着用して防疫作業開始



踏み込み消毒槽に消毒液を追加



同居牛に目印をして隔離し
炭疽疑い牛はブルーシートで被って汚染拡大を防止



令和4年度業績発表会を開催しました

食肉衛生検査所では、日頃のと畜検査業務に加えて様々な調査研究に取り組んでいます。その成果を発表する場として、令和5年2月15日に「食肉衛生検査所業績発表会」を開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を考慮して、ウェブ会議システムを活用したオンライン形式にて開催しました。下記のとおり7演題についての発表があり、各関係機関から20名の方々にご参加いただきました。

なお、発表抄録については、近々当所ホームページに掲載する予定です。



発表演題

1. 分析試験法における実験計画法を用いた条件検討効率化の試み
2. 残留抗生物質検査に用いる感受性測定用パイオンの代替培地の改良について
3. と畜場における豚尿由来大腸菌のmcr-1保有状況
4. *Escherichia albertii* の分離同定方法の検討
5. 牛の腺扁平上皮癌を疑う腺癌
6. *in situ* hybridization 法による牛伝染性リンパ腫の解析
7. 大動物における炭疽疑似獣畜発生を想定した実働演習と課題検討

生産者のみなさまへ きれいな生体の搬入を！！



こんなにピカピカな体表だと
嬉しくなります

令和3年度から始まった外部検証では、枝肉検証と枝肉の微生物試験を実施しています。枝肉検証では、最終洗浄前の枝肉に糞便等の汚れや獣毛が付着していないか、目視で確認しています。体表に糞便等の汚れがヨロイのように付着していると、処理の工程で枝肉に汚れが付着し、衛生状態に影響します。

生体は、体表がきれいな状態で搬入しましょう。

宮城県食肉衛生検査所

〒987-0311

宮城県登米市米山町字桜岡今泉314

電話：0220-55-3752

ファックス：0220-55-4105

電子メール：shmeat@pref.miyagi.lg.jp

★ご意見ご感想お寄せください

当所のホームページはこちらから



❀ 今年度最終号です。
来年度も「検査所だより」をよろしくお願いたします。